

教育会だより

No. 8

令和5年3月10日

公益社団法人諏訪教育会

「より深め、より開き、より据える」

～活かそう伝統を、つなごう未来へ～

WITH コロナ、工夫と改善を重ね、力強く前進し続けた令和4年度諏訪教育会

第5回社員総会開催

3月3日（金）、今年度のまとめとなる第5回社員総会が行われました。会場の換気など感染拡大防止対策を施した上で、通常通りの開催ができました。ご協力ありがとうございました。「令和5年度諏訪教育会事業計画」と「令和5年度収支予算書」が承認されました。続いて令和4年度諏訪教育会事業報告が発表されました。



溝口純永会長の挨拶より



コロナ禍が続く中スタートした令和4年度だったが、社員の先生方のご尽力・ご協力により、諸事業を終えることができた。今年度は、3年ぶりに定期総集會が開催でき、更に、一般の皆様にもご参加いただいた中で、藤原正彦先生を招いての諏訪季節大学講演会が開催できた。来年度も10月18日に岡谷カノラホールにて小平奈緒さんを講師に、諏訪季節大学を予定している。大勢の方のご聴講を願っている。

今後の諏訪教育会の方向も社員の皆様のお知恵を借りながら一緒に考え、共に歩んでいきたい。

各部の報告より（抜粋） ※詳細は、「事業報告書」をご覧ください。

(1) 教科等研究部：坂本部長

- コロナ禍であっても現行学習指導要領の理解を深め、授業改善と教育活動の質の向上をめざして、各委員会で授業実践、研究会を行った。
- ICTの利活用方法など実践を通して学び合っていくために、来年度、教科等研究部の研究テーマにICT機器活用の視点を盛り込むようにしたい。

(2) 専門部：三澤部長

- 地域の方と連携を図り、児童・生徒に生きる活動を大事にしてきた。
- 公益化を考えて地域とのつながりのパイプ役となり多くの方に知っていただくよう発信していく。

(3) 研修部：牛山部長

- 「諏訪の子どもや教育を語る会」は教職員のみでの参加。PTAの皆様の参加を考えると、今後も土曜日の半日開催が適当。
- 各種研究会への助成の継続。地域研修は申請のあった学校全てに助成。

(4) 広報部：植松部長

- ・会誌「諏訪教育」：伝統・編集方針の基本を継承しつつ、さらに公益化の点で内容の充実に努める。
- ・会報：地域に開かれた教育会との立場から外部有識者・企業・PTA 代表者等教育会外部の方から寄稿をいただいている。来年度も継続してほしい。

(5) 諏訪季節大学部：飯嶋部長

- ・第 378 回季節大学会を諏訪教育会創立 140 周年記念講演会として、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、藤原正彦氏を講師に迎え「これからの日本」を演題に行った。
- ・来年度は 10 月 18 日に岡谷カノラホールにて小平奈緒氏を講師に迎え実施する。

(6) 自然調査研究部：藤森部長

- ・児童生徒の自然に対する関心・意欲がより一層高まるよう努めていく。
- ・5 つの委員会はそれぞれテーマ等を決め、調査研究を継続して進めていく。

(7) 郷土調査研究部：櫻井部長

- ・「諏訪の歴史ハンドブック」(中世近世編)の執筆・検討。今後もさらに進めていく。
- ・登山の契「ハケ岳」第 10 版は、中学校の集団登山を中心にしながらも、小学校、先生方個人、家族でのハイキングにも利用できる改訂になっている。改めて会員へ広く紹介していきたい。

(8) 諏訪教育博物館部：小林部長

- ・今年度は親子ワークショップが新型コロナウィルス感染拡大によりやむなく中止になったが、希望する声が多数のため、来年度イルフ童画館さんと検討して改めて開催する予定。
- ・館内リニューアルに向けて、写真やパネルを充実させ、展示物の入れ替えを進めていく。

(9) 特別部：下平部長

- ・教職員バスケットボール大会は新型コロナウィルス感染拡大の感染予防から 3 年連続中止となってしまった。伝統ある大会であるため開催時期などの検討も含めて計画していきたい。
- ・あり方・沿革史委員会は、創立 140 周年記念誌「120 年から 140 年の歩み」の発刊をもって今年度で委員会活動は終了。
- ・Web ページの形式の見直しを行っていきたい。

協議より 社員の皆さんより諏訪教育会事業運営への意見・要望をいただきました。

☆ 諏訪教育会ならではの霧ヶ峰自然観察会

自然研究部として毎年霧ヶ峰自然観察会に参加させていただいている。植物・動物・歴史・地理など様々な観点から説明していただき、新たなことをたくさん知ることができている。小学生もたくさん参加して公益性のある活動となっている。ぜひ、継続して行ってほしい。

☆ 貴重な学びの場 諏訪季節大学

藤原正彦先生から「惻隠の情」という言葉を教えていただいた。学校に戻ってからも職員で季節大学会での「惻隠の情」などについて話し合うことができた。みんなと同じ講演を聴き、感想を伝え合う経験は貴重である。これからも学び続ける姿勢を大切にしたい。

☆ 委員会活動を通しての学び

今年度、あり方・沿革史委員会に所属して、諏訪教育会設立 140 周年での沿革史作成のための活動をさせていただいた。自分たちが知らなかった諏訪教育会の歴史を学ぶ良い機会となった。特に、事務局の先生方が、データや写真をととても丁寧に残していただいてあったので、貴重な資料として活用することができた。今後も資料を一つ一つ丁寧に残していくことも私たちが歴史の中でしていくべき事なのだと思った。

【溝口会長のまとめ】

霧ヶ峰自然観察会ではリピーターの方がたくさんいらっしやることに驚いた。各事業や研修に参加し、学んでいただいたことが子どもにかえるので、ぜひ継続していきたい。季節大学講演会については、好評をいただけたので、意義のある講演会を引き続き考えていきたい。諏訪教育会・信濃教育会の両方に入会いただくことは、研修をより深める、全県の先生方とつな

がることができるなど大事な意味がある。年度当初、入会を率先して勧めていただきたい。

正副議長をお務めいただいた百瀬俊樹社員（原小）、宮坂哲生社員（上の原小）のお二人には、一年間に渡って大変お世話になりました。ありがとうございました。